

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	出産祝金事業		コード	担当課	市民課
			06-01-16-03	担当者	高橋幸子
事業実施期間	昭和17年～		電話	0869-64-1818	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり			
	中項目	簡素で効率的な行政運営			
	小項目	その他事務管理			
	施策	戸籍等			

事業について	
目的	旧日生町内の出生児の保護者に対して出産祝金を支給することにより、若年層の増加及び定住化のための出産を奨励するとともに、次代を担う出生児の健やかな成長を図ることを目的とする。また、旧吉永町内の出生児に対して誕生祝金を支給することにより、次代を担う赤ちゃんの健やかな成長を図ることを目的とする。
対象(誰のために)	旧日生町及び旧吉永町に居住し、出産によって父又は母となった者
内容	出産日前6ヶ月以上旧日生町、旧吉永町内に居住し、かつ住民基本台帳又は外国人登録台帳に登録されている者。旧日生町民1人30,000円 旧吉永町民 第2子50,000円、3子以降100,000円

事業の結果	17年度			
実施項目	(単位)		回数など (単位)	
日生	41	人		
吉永(第2子)	8	人		
(第3子以降)	10	人		
		人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,620	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	629	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,249	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.12	人		人	
------	------	---	--	---	--

結果指標①	結果指標名	出産祝金支給事務	
	結果指標量	59	
	単位	人	
	対前年比	-	
結果指標②	事業費	2,620,000	円
	単当たりコスト①	44,407	円
	結果指標名		
	結果指標量		

事業の成果	17年度		
成果指標名	祝金支給率	式又は説明	出生届人数/申請受付交付者数
成果指標量	100		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	100	到達目標年度	条例 廃止 平成21年3月31日

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	合併に伴い日生、吉永地域において暫定措置で旧町条例に基づき支給する。旧備前市民に対しては条例等はなく、日生吉永の単価にも格差があり公平性に欠けている
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民との関係の妥当性	効率的に処理できている
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	事務の効率化を図りコストダウンを削減する
	職場の効率化	
	目的達成度	
市民参画度	成果向上の可能性	事務の効率化を図りコストダウンを削減する
	市民参画度	
	市民参画度	

総合評価	コメント	評価区分
	暫定措置で旧条例に基づき旧日生吉永住民に対して支給。合併協議時の首長会議において廃止を前提に18年度より全市で1万円を支給することにより市民の格差がなくなる。	<A~E>
		C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	妥当性	全市民に対して1万の出産祝金を支給	18年度から	出産した親への公平な祝金の支給

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。